

はじめに



我が国では、他国に例をみない早いペースで高齢化が進んでいます。本市においても高齢化率が30%を超える超高齢社会を迎えており、要介護者や認知症高齢者の増加を踏まえた、医療・介護への新たなニーズへの対応が求められています。

本市では、これまで、介護保険制度の推進と介護予防のための保健福祉サービスの充実に努め、総合的な福祉施策に取り組んでまいりましたが、今後、さらに高齢化の進行が予想されることから、制度の安定的運営はもとより、医療と連携した介護予防や地域ケアに重点を置いた施策などを、今まで以上に展開していく必要があります。

こうした中、本計画は、合併後初めて「日南市」として策定した計画です。

団塊の世代が65歳に到達する平成26年以降の高齢者介護の姿を念頭におき、平成24年度から3カ年を見通す介護保険事業と高齢者保健福祉事業の運営指針を示すものであり、『「地域」で守る高齢者の安全・安心、見守りと気づきのまちづくり』を基本理念に、高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らし続けるための総合的なまちづくりを進めます。

最後に、本計画の策定にあたりまして、ご意見、ご指導をいただきました策定委員の皆様をはじめ、関係各位のご協力に対して、心から感謝申し上げます。

平成24年3月

日南市長 谷口 義幸